

### 3-3 ニーズ得点

#### ◎ ニーズ得点の考え方

ここでは、問13に挙げられている各種施策について、前出の「満足度」、「重要度」をもとに、市民の皆様のニーズを明らかにしている。このニーズを求める際に用いる考え方が「ニーズ得点」である。

ニーズ得点は、「重要度」と「満足度」を図表3-16のとおり得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となる。具体的な計算式は以下のとおり。

○ニーズ得点=各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）

例：「自転車対策の推進」について見てみると、ニーズ得点は10.288となる。

【満足度（加重平均）】

$$= (4 \text{点} \times 58 \text{件} + 3 \text{点} \times 392 \text{件} + 2 \text{点} \times 497 \text{件} + 1 \text{点} \times 469 \text{件}) \div 1,416 \text{ (合計件数)} = 2.028$$

【重要度（加重平均）】

$$= (4 \text{点} \times 824 \text{件} + 3 \text{点} \times 656 \text{件} + 2 \text{点} \times 65 \text{件} + 1 \text{点} \times 19 \text{件}) \div 1,564 \text{ (合計件数)} = 3.461$$

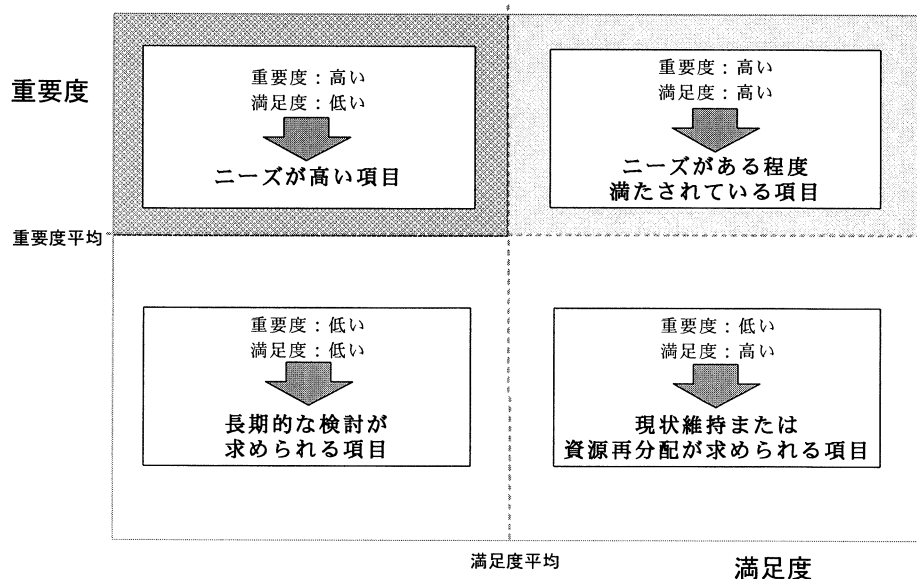
$$\text{ニーズ得点} = 3.461 \times (5 - 2.028) = \underline{10.288}$$

図表3-16 「満足度」および「重要度」の得点化

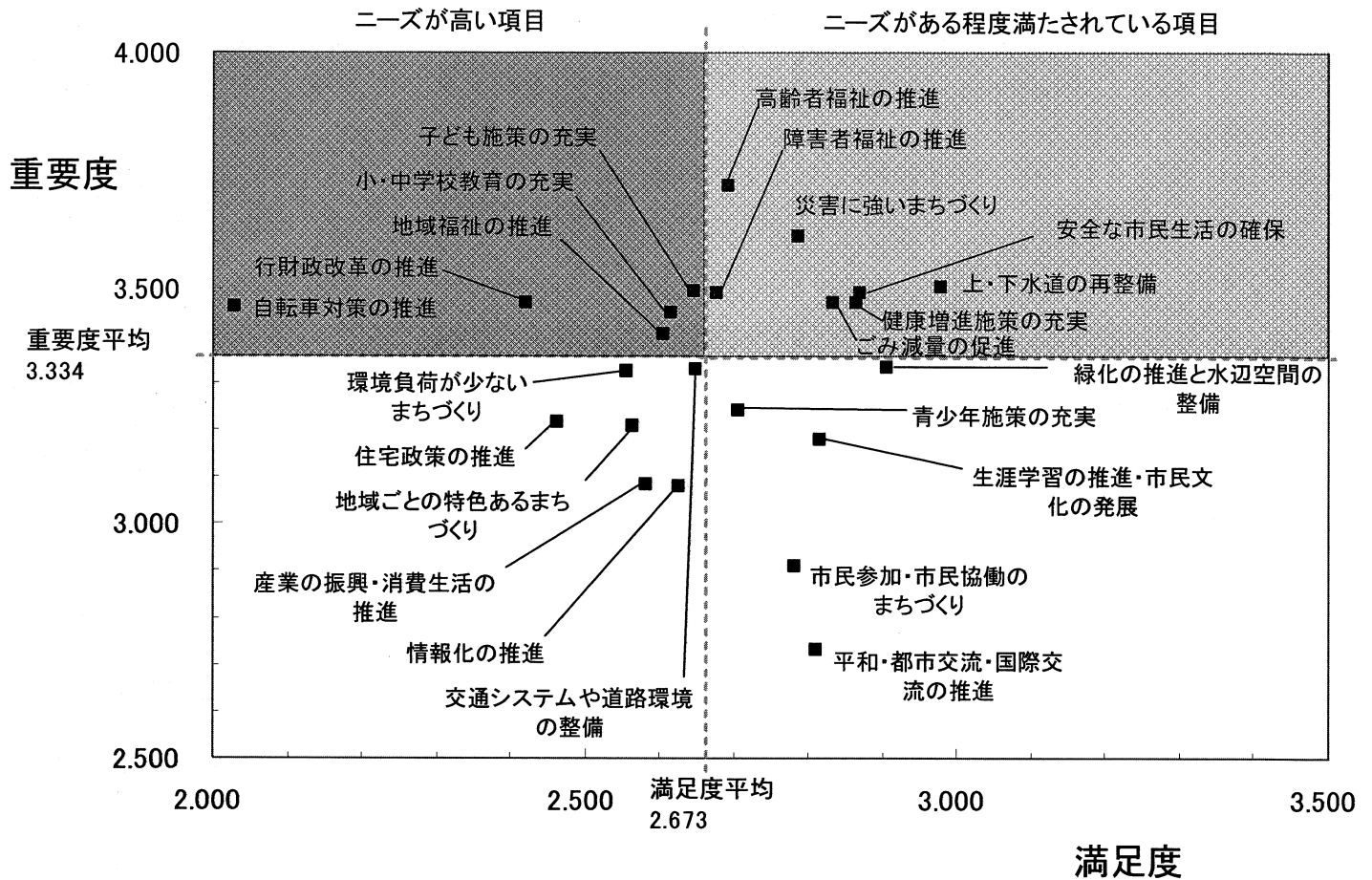
点数	満足度				重要度										
	4	3	2	1	4	3	2	1							
回答選択肢件数	満足 58	満足 ある程度 392	あまり満足 していない 497	不満足 469	合計 1,416	わからない 192	無回答 64	満足度 (加重平均) 2.028	重要 824	重要 ある程度 656	あまり 重要でない 65	重要でない 19	合計 1,564	無回答 108	重要度 (加重平均) 3.461

また上記のニーズ得点に加え、数値化した「重要度」と「満足度」により散布図を作成することで、ニーズの高い項目を確認できる。

下図のように、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとった散布図を「重要度平均」および「満足度平均」で4つに分割すると、図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目であることを、逆に、図の右上に位置するものほど重要度が高く満足度も高い項目であることを示している。また、左上に位置するものは、重要度が高く満足度の低い項目、すなわちニーズが高い項目となる。以下では、「ニーズがある程度満たされている項目」および「ニーズが高い項目」に焦点を当てて、各種施策を見ていくこととする。



図表 3-17 散布図（満足度・重要度）



上の散布図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは〔自転車対策の推進〕や〔行財政改革の推進〕、〔地域福祉の推進〕、〔小・中学校教育の充実〕、〔子ども施策の充実〕などである。一方、〔上・下水道の再整備〕、〔安全な市民生活の確保〕、〔健康増進施策の充実〕、〔ごみ減量の促進〕、〔障害者福祉の推進〕は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目であることがわかる。（図表 3-17）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めた。

【ニーズ得点】は、〔自転車対策の推進〕（10.288）が最も高くなった。次いで〔行財政改革の推進〕（8.951）が高く、〔高齢者福祉の推進〕（8.582）、〔小・中学校教育の充実〕（8.227）、〔子ども施策の充実〕（8.224）、と続いている。（図表3－18）

図表3－18 項目別ニーズ得点

（点数順）

順位	番号	項目	得点 ニーズ
1	20	自転車対策の推進	10.288
2	22	行財政改革の推進	8.951
3	1	高齢者福祉の推進	8.582
4	7	小・中学校教育の充実	8.227
5	5	子ども施策の充実	8.224
6	18	住宅政策の推進	8.158
7	3	地域福祉の推進	8.149
8	9	環境負荷が少ないまちづくり	8.132
9	2	障害者福祉の推進	8.102
10	14	災害に強いまちづくり	7.990
11	19	交通システムや道路環境の整備	7.825
12	17	地域ごとの特色あるまちづくり	7.821

順位	番号	項目	得点 ニーズ
13	10	ごみ減量の促進	7.520
14	12	産業の振興・消費生活の推進	7.463
15	13	安全な市民生活の確保	7.440
16	6	青少年施策の充実	7.436
17	4	健康増進施策の充実	7.411
18	23	情報化の推進	7.316
19	21	上・下水道の再整備	7.075
20	11	緑化の推進と水辺空間の整備	6.979
21	8	生涯学習の推進・市民文化の発展	6.946
22	15	市民参加・市民協働のまちづくり	6.461
23	16	平和・都市交流・国際交流の推進	5.984

図表3-19 ニーズ得点（性別・居住地域別順位）

別 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
1位	自転車対策の推進 10.288	自転車対策の推進 10.293	自転車対策の推進 10.297	自転車対策の推進 10.853	自転車対策の推進 9.888	自転車対策の推進 9.919
2位	行財政改革の推進 8.951	行財政改革の推進 9.184	行財政改革の推進 8.787	行財政改革の推進 9.173	行財政改革の推進 8.735	行財政改革の推進 8.819
3位	高齢者福祉の推進 8.582	高齢者福祉の推進 8.517	高齢者福祉の推進 8.634	高齢者福祉の推進 8.883	高齢者福祉の推進 8.325	高齢者福祉の推進 8.368
4位	小・中学校教育の充実 8.227	子ども施策の充実 8.458	小・中学校教育の充実 8.319	地域福祉の推進 8.480	子ども施策の充実 8.210	子ども施策の充実 8.218
5位	子ども施策の充実 8.224	環境負荷が少ないまちづくり 8.126	地域福祉の推進 8.290	環境負荷が少ないまちづくり 8.456	住宅政策の推進 8.150	小・中学校教育の充実 8.210
6位	住宅政策の推進 8.158	小・中学校教育の充実 8.091	住宅政策の推進 8.283	住宅政策の推進 8.368	小・中学校教育の充実 8.147	障害者福祉の推進 7.977
7位	地域福祉の推進 8.149	地域福祉の推進 7.982	障害者福祉の推進 8.206	小・中学校教育の充実 8.291	障害者福祉の推進 8.042	住宅政策の推進 7.923
8位	環境負荷が少ないまちづくり 8.132	住宅政策の推進 7.941	環境負荷が少ないまちづくり 8.143	災害に強いまちづくり 8.237	環境負荷が少ないまちづくり 8.017	地域福祉の推進 7.904
9位	障害者福祉の推進 8.102	障害者福祉の推進 7.929	子ども施策の充実 8.077	子ども施策の充実 8.227	地域福祉の推進 7.953	環境負荷が少ないまちづくり 7.802
10位	災害に強いまちづくり 7.990	災害に強いまちづくり 7.915	災害に強いまちづくり 8.044	障害者福祉の推進 8.212	災害に強いまちづくり 7.854	災害に強いまちづくり 7.758

性別に見ると、1位から3位は〔自転車対策の推進〕、〔行財政改革の推進〕および〔高齢者福祉の推進〕である。次いで、男性では〔子ども施策の充実〕が4位、〔環境負荷が少ないまちづくり〕が5位となっている。一方、女性では〔小・中学校教育の充実〕が4位、〔地域福祉の推進〕が5位につけている。

居住地域別に見た場合でも、1位から3位は〔自転車対策の推進〕、〔行財政改革の推進〕および〔高齢者福祉の推進〕である。その他の項目では、〔子ども施策の充実〕が中央地域、武蔵境地域ともに4位となっている一方、吉祥寺地域では9位となっている。（図表3-19）

図表3-20 ニーズ得点（年代別順位）

年代 順位	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上
1位	自転車対策の推進 10.023	自転車対策の推進 10.153	自転車対策の推進 10.667	自転車対策の推進 10.573	自転車対策の推進 9.924	自転車対策の推進 10.353	自転車対策の推進 10.334
2位	行財政改革の推進 9.129	行財政改革の推進 8.606	行財政改革の推進 8.804	行財政改革の推進 9.520	行財政改革の推進 9.341	行財政改革の推進 8.684	小・中学校教育の充実 8.229
3位	子ども施策の充実 8.770	子ども施策の充実 8.575	高齢者福祉の推進 8.686	高齢者福祉の推進 9.041	高齢者福祉の推進 8.819	高齢者福祉の推進 8.590	高齢者福祉の推進 8.217
4位	高齢者福祉の推進 8.637	小・中学校教育の充実 8.480	小・中学校教育の充実 8.479	地域福祉の推進 8.691	地域福祉の推進 8.478	青少年施策の充実 8.421	住宅政策の推進 8.200
5位	環境負荷が少ないまちづくり 8.579	住宅政策の推進 8.364	障害者福祉の推進 8.228	環境負荷が少ないまちづくり 8.485	住宅政策の推進 8.360	地域福祉の推進 8.293	交通システムや道路環境の整備 8.169
6位	小・中学校教育の充実 8.390	環境負荷が少ないまちづくり 8.037	住宅政策の推進 8.212	障害者福祉の推進 8.346	地域ごとの特色あるまちづくり 8.285	住宅政策の推進 8.280	子ども施策の充実 8.164
7位	地域福祉の推進 8.128	高齢者福祉の推進 8.004	子ども施策の充実 8.094	災害に強いまちづくり 8.174	子ども施策の充実 8.257	子ども施策の充実 8.085	環境負荷が少ないまちづくり 8.105
8位	障害者福祉の推進 8.112	障害者福祉の推進 7.895	環境負荷が少ないまちづくり 8.047	小・中学校教育の充実 8.025	障害者福祉の推進 8.246	災害に強いまちづくり 7.954	行財政改革の推進 8.087
9位	ごみ減量の促進 8.103	地域ごとの特色あるまちづくり 7.734	災害に強いまちづくり 7.988	住宅政策の推進 8.020	災害に強いまちづくり 8.198	障害者福祉の推進 7.913	地域福祉の推進 7.990
10位	災害に強いまちづくり 7.748	災害に強いまちづくり 7.729	交通システムや道路環境の整備 7.964	交通システムや道路環境の整備 7.837	環境負荷が少ないまちづくり 8.108	交通システムや道路環境の整備 7.728	障害者福祉の推進 7.876

年代別に見ると、すべての年代で〔自転車対策の推進〕が1位となっているほか、80歳以上を除いたすべての年代で〔行財政改革の推進〕が2位となっている。また20歳～29歳、30歳～39歳では〔子ども施策の充実〕が、40歳以上の年代では〔高齢者福祉の推進〕が3位に位置している。（図表3-20）

図表3-21 ニーズ得点（子どもの就学状況別・介護が必要な同居人の有無別順位）

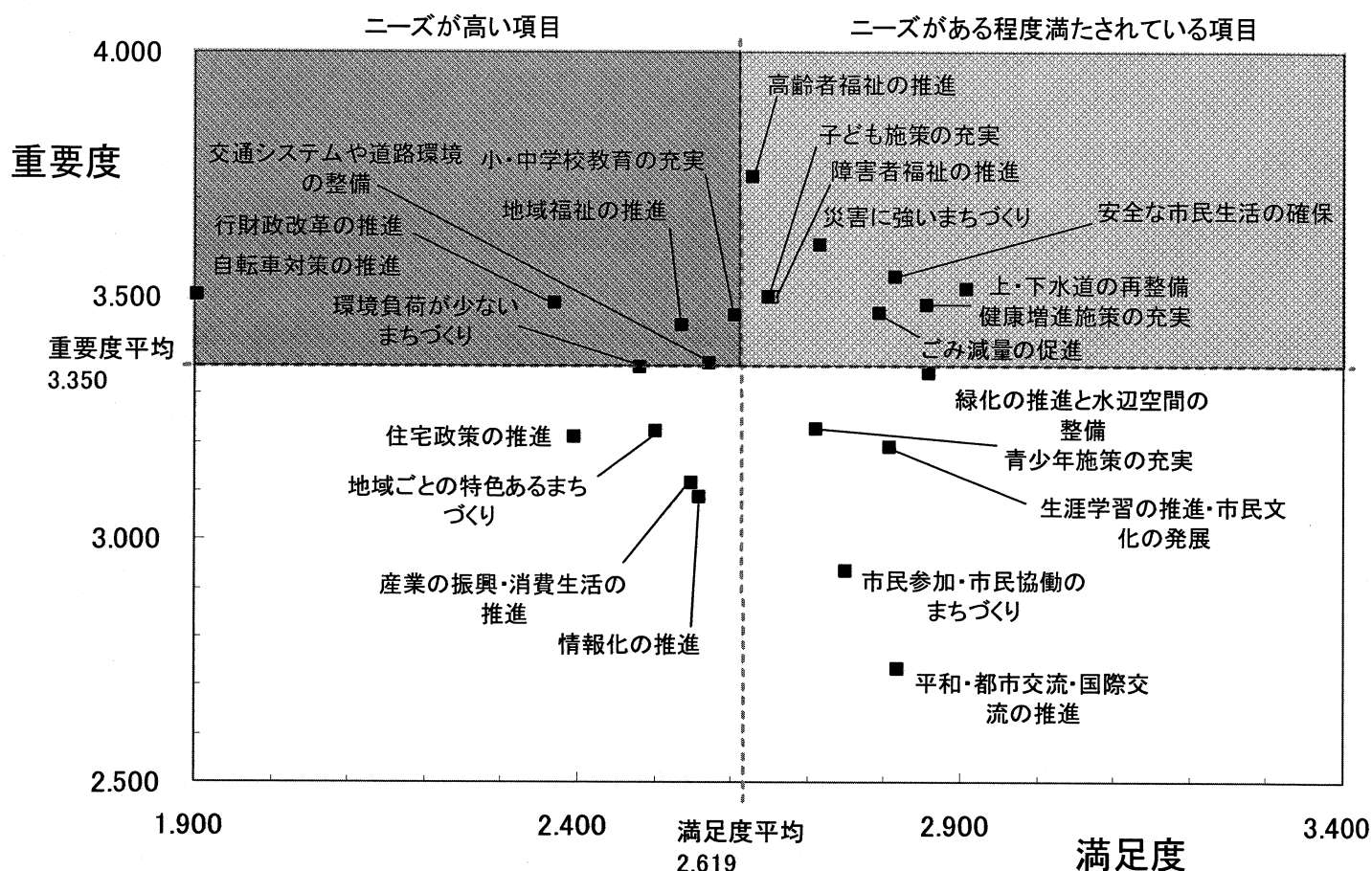
別 順位	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生およ び高校生相 当年齢	介護が必要な同居家族が	
					いる	いない
1位	自転車対策 の推進 9.995	自転車対策 の推進 10.293	自転車対策 の推進 10.592	自転車対策 の推進 10.735	自転車対策 の推進 10.616	自転車対策 の推進 10.229
2位	小・中学校教 育の充実 9.225	小・中学校教 育の充実 9.150	行財政改革 の推進 9.488	行財政改革 の推進 9.905	行財政改革 の推進 9.186	行財政改革 の推進 8.866
3位	子ども施策 の充実 9.111	行財政改革 の推進 8.452	小・中学校教 育の充実 9.424	小・中学校教 育の充実 9.100	高齢者福祉 の推進 9.047	高齢者福祉 の推進 8.475
4位	地域ごとの 特色あるま ちづくり 8.371	交通システ ムや道路環 境の整備 8.255	災害に強い まちづくり 8.622	環境負荷が 少ないまち づくり 8.756	障害者福祉 の推進 8.707	小・中学校教 育の充実 8.268
5位	青少年施策 の充実 8.276	災害に強い まちづくり 7.990	交通システ ムや道路環 境の整備 8.522	高齢者福祉 の推進 8.699	地域福祉の 推進 8.657	環境負荷が 少ないまち づくり 8.144
6位	障害者福祉 の推進 8.265	子ども施策 の充実 7.978	子ども施策 の充実 8.507	障害者福祉 の推進 8.636	子ども施策 の充実 8.581	子ども施策 の充実 8.140
7位	環境負荷が 少ないまち づくり 8.204	住宅政策の 推進 7.716	住宅政策の 推進 8.055	地域福祉の 推進 8.601	地域ごとの 特色あるま ちづくり 8.089	住宅政策の 推進 8.119
8位	行財政改革 の推進 8.165	環境負荷が 少ないまち づくり 7.701	高齢者福祉 の推進 7.910	災害に強い まちづくり 8.304	住宅政策の 推進 8.084	災害に強い まちづくり 8.037
9位	交通システ ムや道路環 境の整備 8.045	高齢者福祉 の推進 7.674	地域ごとの 特色あるま ちづくり 7.848	地域ごとの 特色あるま ちづくり 8.133	環境負荷が 少ないまち づくり 8.060	地域福祉の 推進 8.030
10位	地域福祉の 推進 7.911	青少年施策 の充実 7.628	環境負荷が 少ないまち づくり 7.846	子ども施策 の充実 8.132	小・中学校教 育の充実 7.982	障害者福祉 の推進 7.985

子どもの就学状況別に見ると、全体でも上位の〔自転車対策の推進〕と〔行財政改革の推進〕が、子どもが小学校入学前の〔行財政改革の推進〕を除き、上位に位置しているが、子どもが小学校入学前および小学生の場合は〔小・中学校教育の充実〕が2位、中学生および高校生および高校生相当年齢の場合3位となっている。また、子どもが小学校入学前では、〔子ども施策の充実〕が3位となっている。

介護が必要な同居家族の有無別に見ると、ここでも〔自転車対策の推進〕と〔行財政改革の推進〕が上位に位置しているほか、介護が必要な同居家族がいると回答した家庭では、〔障害者福祉の推進〕と〔地域福祉の推進〕が、介護が必要な同居家族がいないと回答した家庭に比べて上位の3位、4位に位置している。(図表3-21)

### 3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）

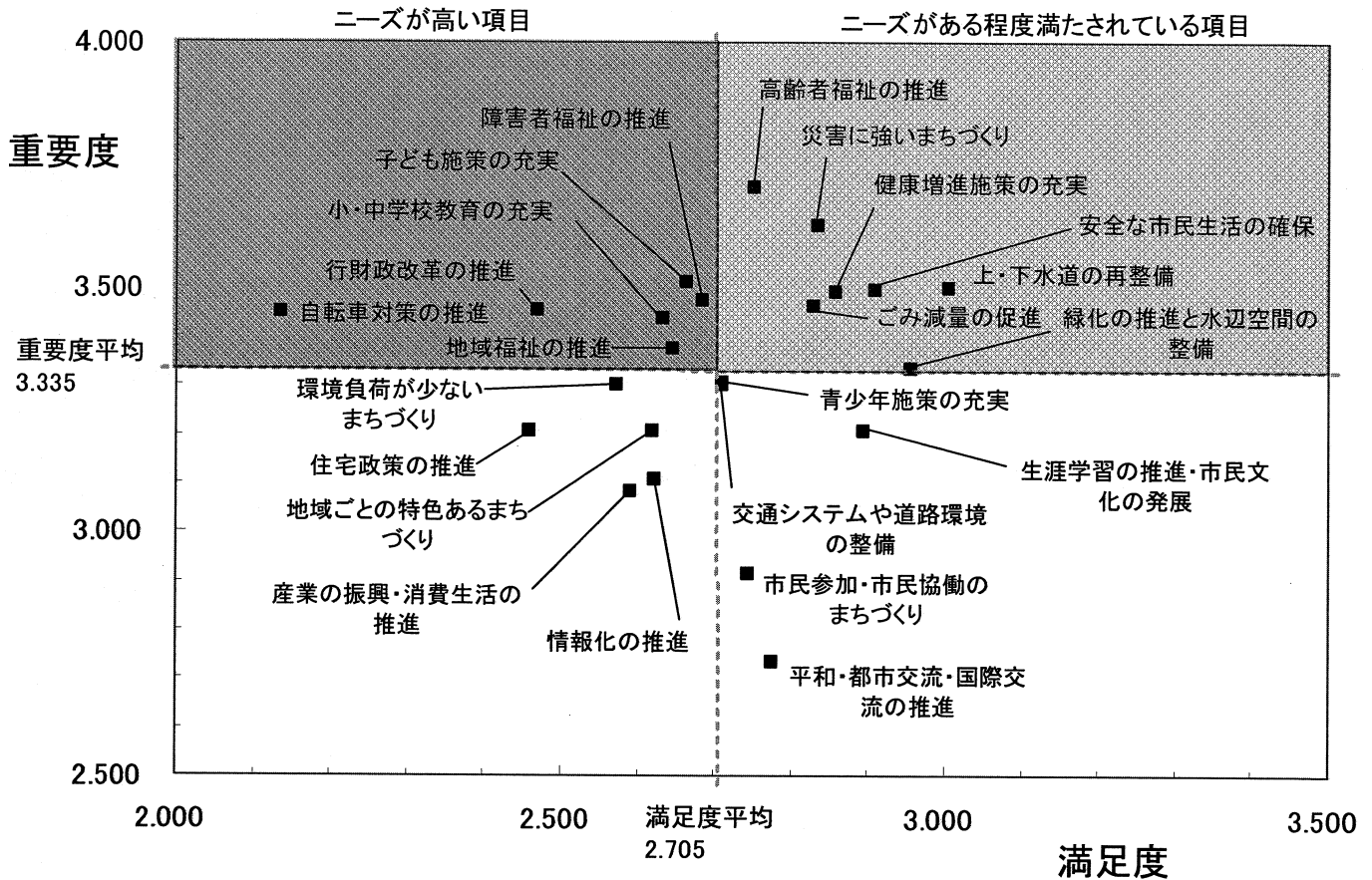
図表 3-22 散布図（満足度・重要度） 吉祥寺地域



吉祥寺地域では、〔自転車対策の推進〕、〔行財政改革の推進〕、〔環境負荷が少ないまちづくり〕、〔地域福祉の推進〕、〔小・中学校教育の充実〕が、ニーズが高いグループとなっている。一方、〔上・下水道の再整備〕、〔健康増進施策の充実〕、〔ごみ減量の促進〕、〔安全な市民生活の確保〕、〔災害に強いまちづくり〕等は、ニーズがある程度満たされていると見ることが出来る。

また吉祥寺地域は、他の2地域と比べて、施策の満足度が低い傾向がある。(図表 3-22)

図表3-23 散布図（満足度・重要度） 中央地域

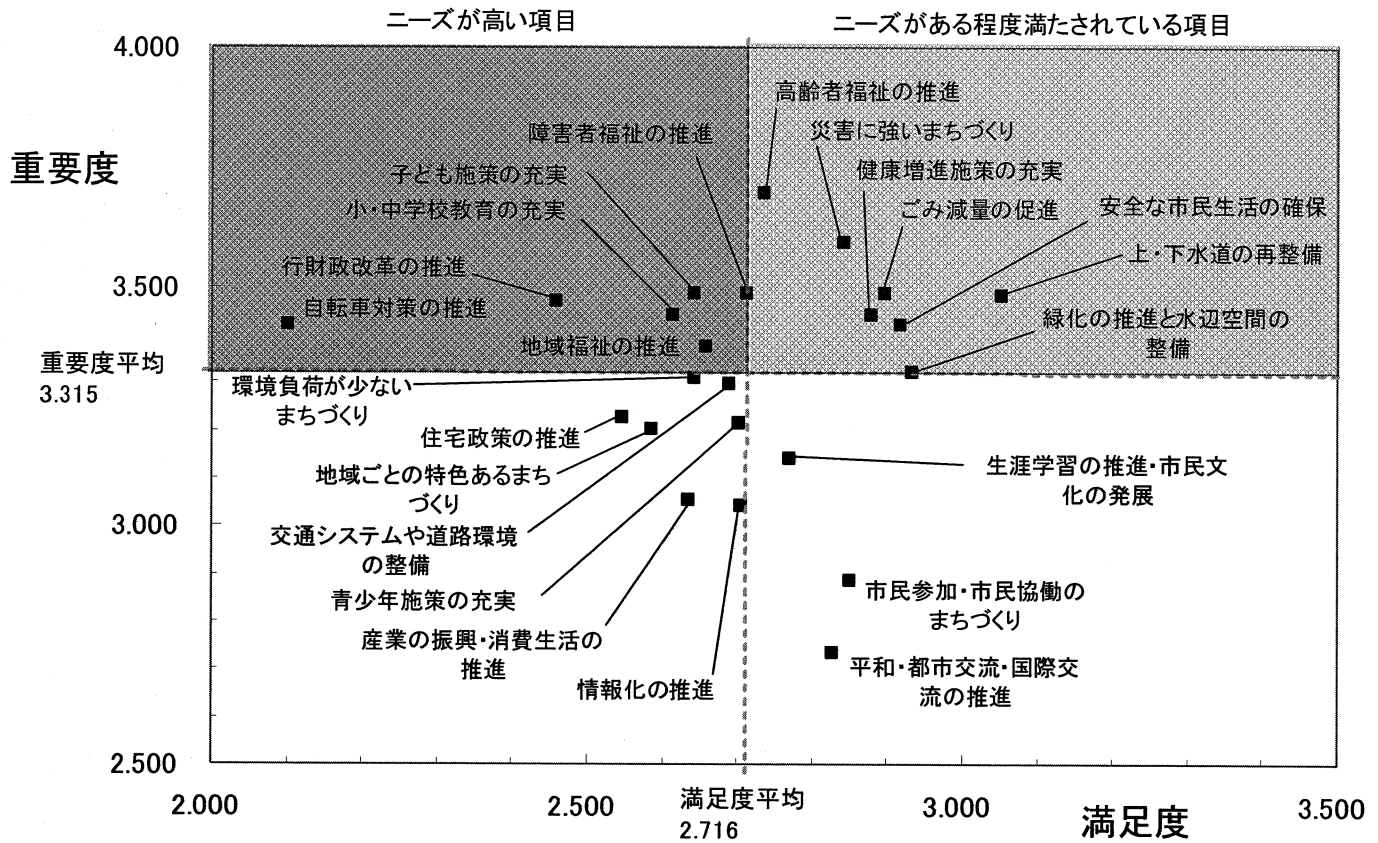


中央地域では、吉祥寺地域と同様、〔行財政改革の推進〕、〔地域福祉の推進〕、〔小・中学校教育の充実〕がニーズが高い項目となっているが、これに加えて〔子ども施策の充実〕、〔障害者福祉の推進〕もニーズが比較的高くなっている。

一方、〔上・下水道の再整備〕、〔健康増進施策の充実〕、〔安全な市民生活の確保〕、〔災害に強いまちづくり〕、〔ごみ減量の促進〕等のニーズがある程度満たされているのは、吉祥寺地域と同様である。(図表3-23)



図表 3-24 散布図（満足度・重要度） 武蔵境地域



武蔵境地域でも、中央地域と同様に〔行政改革の推進〕、〔地域福祉の推進〕、〔小・中学校教育の充実〕、〔子ども施策の充実〕、〔障害者福祉の推進〕がニーズが高い項目となっている。

一方〔健康増進施策の充実〕、〔安全な市民生活の確保〕、〔災害に強いまちづくり〕、〔ごみ減量の促進〕等はニーズがある程度満たされているといえるが、〔上・下水道の再整備〕については他地域と比較して満足度が高く、よりニーズが満たされていると考えることができる。

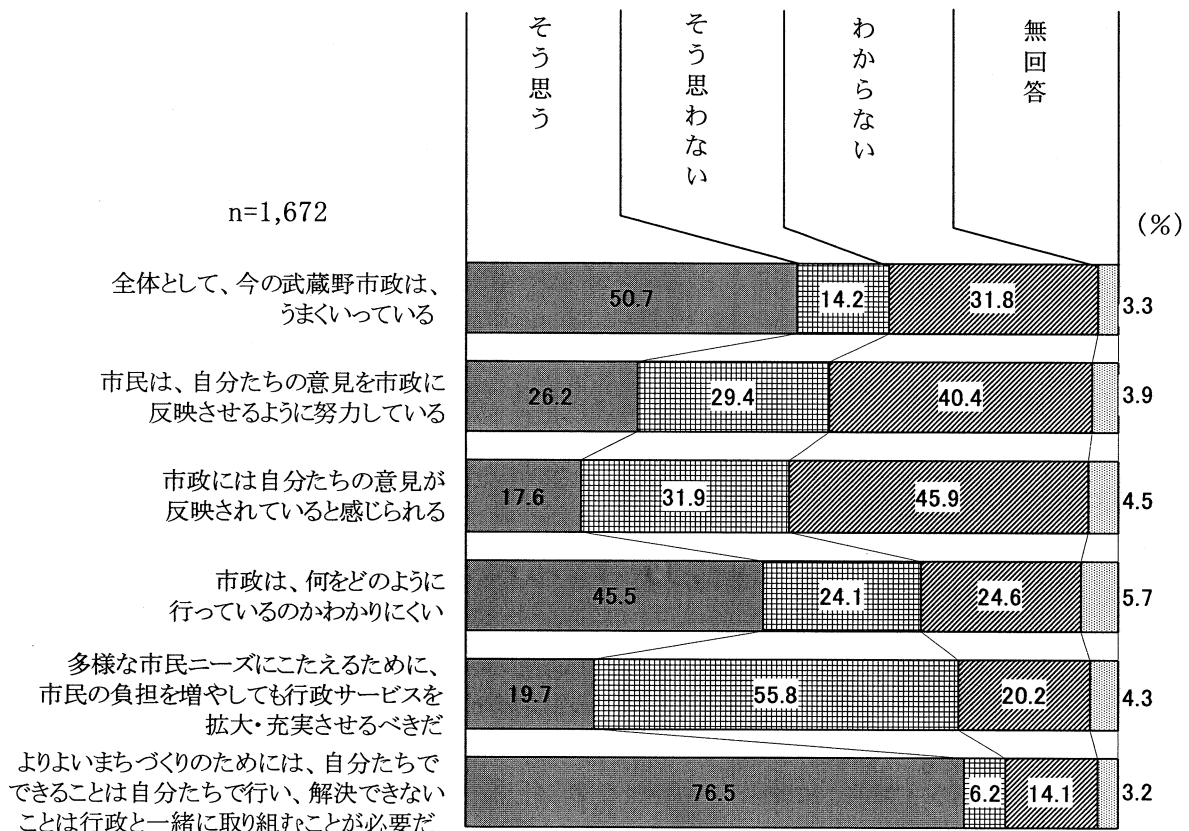
また武蔵境地域は、施策に対する満足度が他地域と比較して高くなっている。(図表 3-24)

### 3-5 市政の現状や問題点

- ◎ 「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」では、「そう思う」は5割を超え、「よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むことが必要だ」では7割台半ばを超える。

問14 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

図表3-25 市政の現状や問題点



〔全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている〕は「そう思う」が5割を超えている。

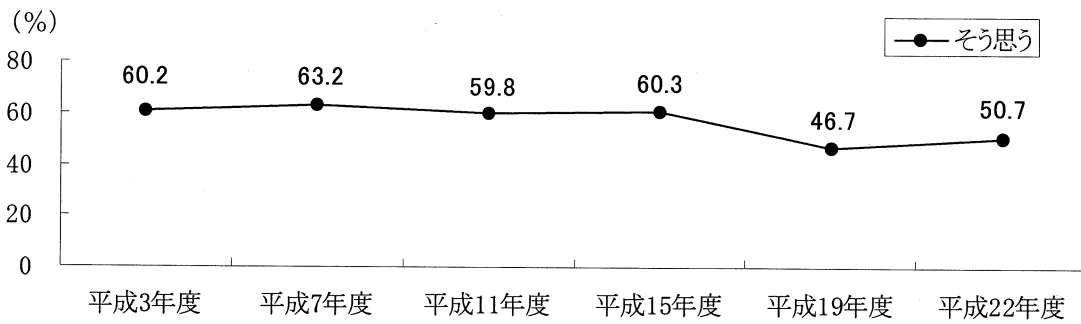
〔市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している〕は「そう思わない」(29.4%)が「そう思う」(26.2%)を若干上回っている。

また〔市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる〕は「そう思わない」が約3割、〔市政は、何をどのように行っているのかわかりにくい〕は「そう思う」が4割台半ばとなっている。

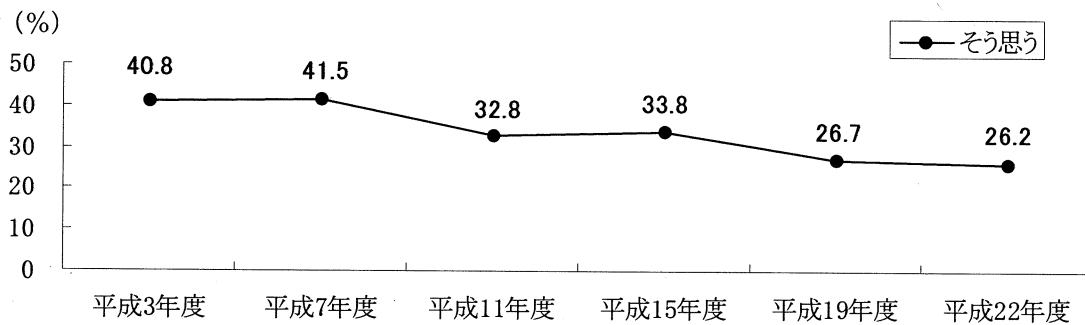
〔多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ〕は、「そう思わない」が5割台半ば、〔よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むことが必要だ〕は、「そう思う」が7割台半ばを超えている。(図表3-25)

図表3-26 市政の現状や問題点（経年比較）

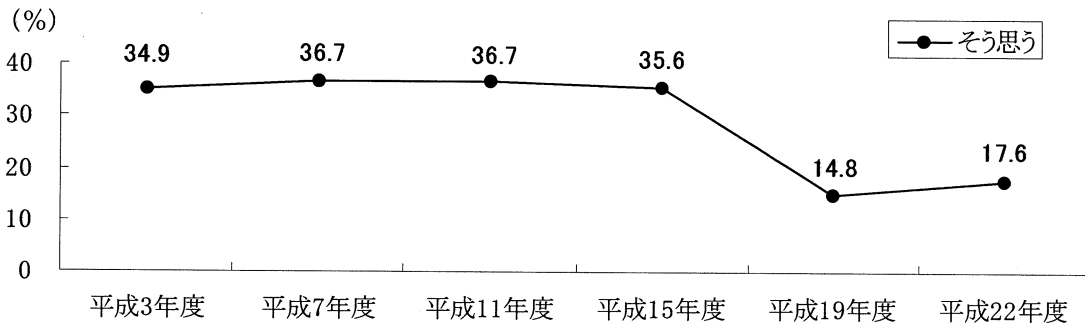
□全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている



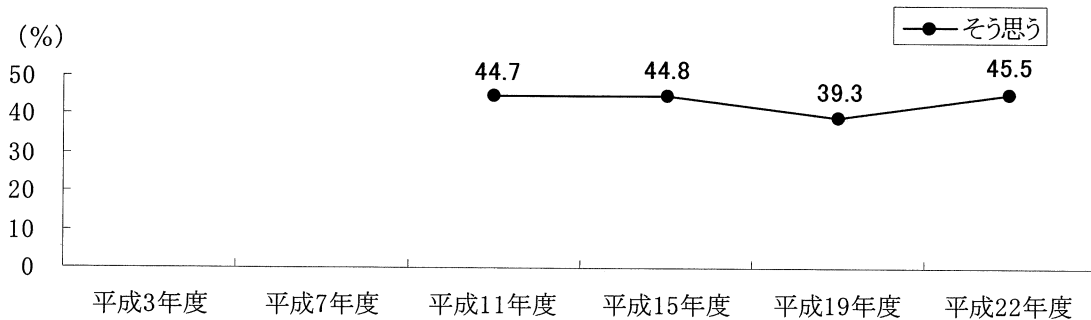
□市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している



□市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる



□市政は、何をどのように行っているのかわかりにくい



※1 平成15年度調査以前では、「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」は「いまの武蔵野市の行政は、一般的にうまくいっている」、「市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」は「一般の武蔵野市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」、「市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる」は「武蔵野市政は、市民の意見を反映している」といってよい」となっている。

※2 「市政は、何をどのように行っているのかわかりにくい」は平成15年調査以前では「武蔵野市の行政は、何をどのように行っているのかよくわからない」、平成19年調査では「市政は、何をどのように行っているのかよくわからない」となっている。

市政に対する現状や問題点の「そう思う」割合を過去の調査と比較した。

〔全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている〕は平成19年度では4割台まで減少したが、今回調査では5割台まで回復している。平成15年以前の水準には届いていないものの、平成19年度から市政への評価がよくなっていることがうかがえる。

〔市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している〕は、平成7年以降減少傾向にあり、今回は前回とほぼ同様に2割台半ばとなっている。

〔市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる〕は平成15年度まで3割台半ばとなっていたが、平成19年度に1割台半ばまで減少し、今回調査でも若干の改善にとどまった。

〔市政は、何をどのように行っているのかわかりにくい〕は、調査開始以降最も高い値を記録した。今後ともより一層、わかりやすい情報提供を行い、市政に対する市民の理解を助ける必要がある。(図表3-26)

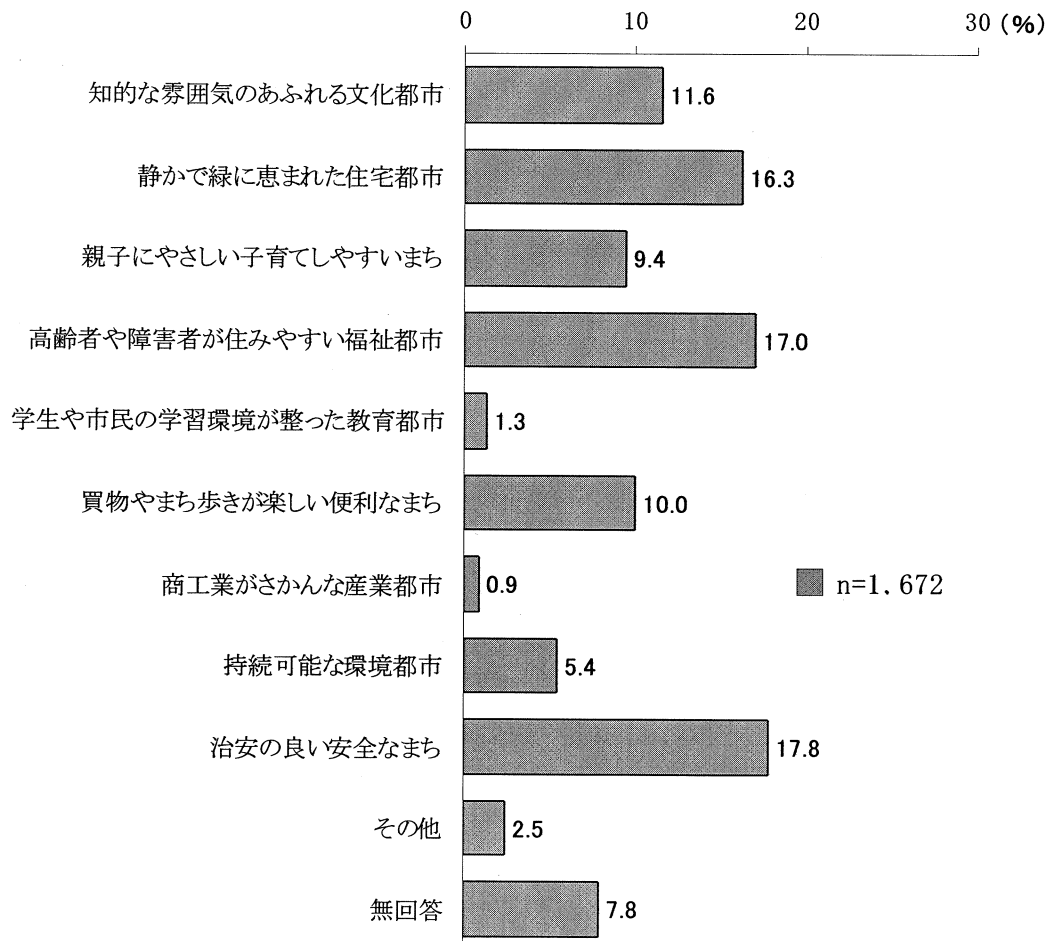
〔多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしてでも行政ニーズを拡大・充実させるべきだ〕は、平成19年度から実施している。今回(19.7)は前回調査(18.7)から若干上昇したものの、1割台の低い水準にとどまっている。また、〔よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むことが必要だ〕も、平成19年度から実施している。今回(76.5)は前回調査(66.9)から約10ポイント上昇し、7割台半ばとなっている。

### 3-6 武蔵野市の将来像

◎ 「治安の良い安全なまち」、「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」、「静かで緑に恵まれた住宅都市」が上位3位を占める。

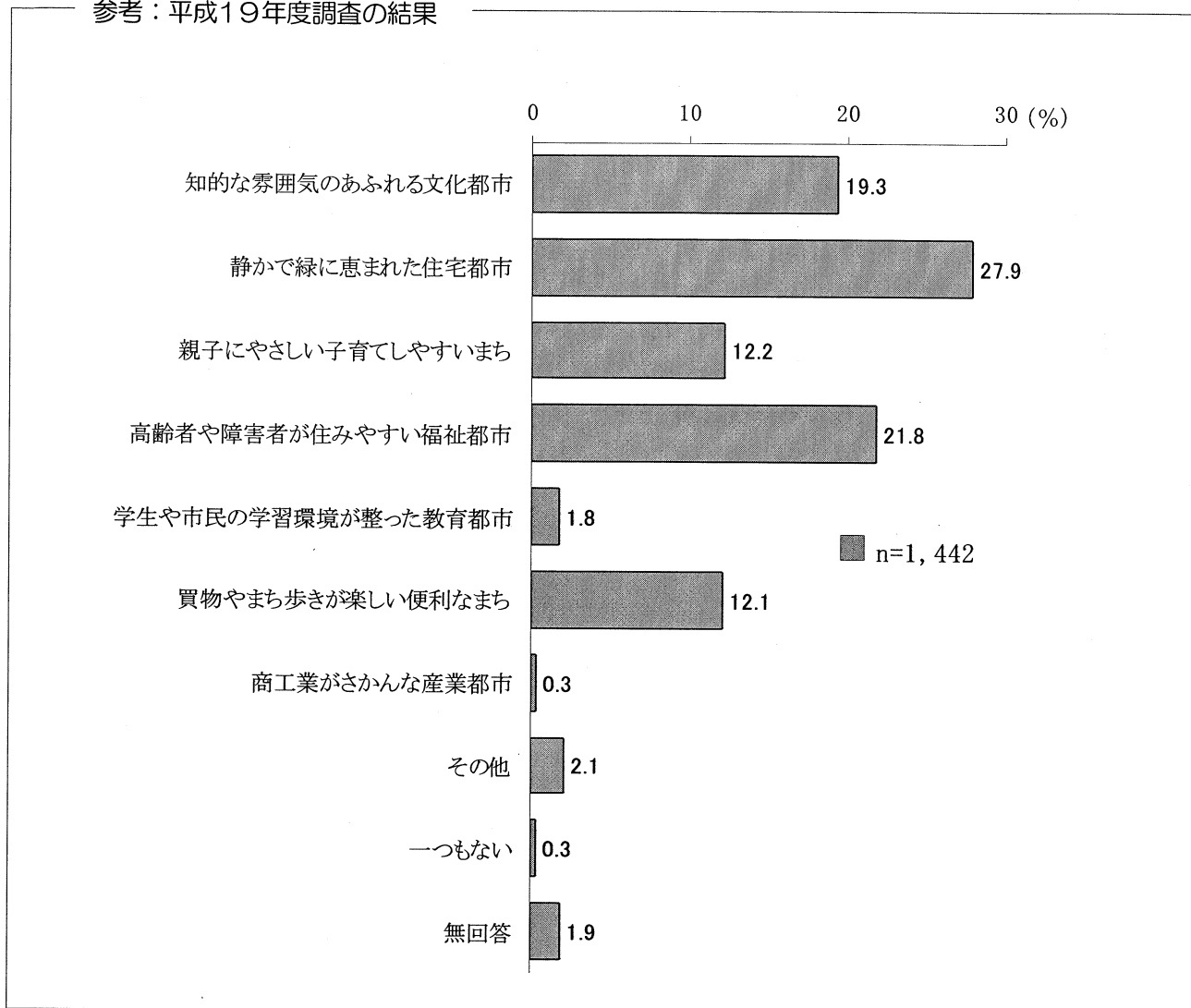
問15 武蔵野市は全体として、これからどのような都市になることが望ましいと思いますか。  
(○は1つ)

図表3-27 武蔵野市の将来像



武蔵野市の将来像としては、「治安の良い安全なまち」が最も多くなっている。次いで「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」、「静かで緑に恵まれた住宅都市」と続いている。(図表3-27)

参考：平成19年度調査の結果



前回調査と比較すると、「静かで緑に恵まれた住宅都市」が1割以上減少し、また「知的な雰囲気のあふれる文化都市」も1割弱の減少が見られる。しかし今回調査より新設された「治安のよい安全なまち」が全体の2割弱と高い割合を示しているため、単純な比較はできない。

図表3-28 武蔵野市の将来像 (性別・年代別・居住地域別)

		調査数 (n)	知的な雰囲気のある文化都市	静かで緑に恵まれた住宅都市	親子にやさしい子育てしやすいまち	高齢者や障害者が住みやすい福祉都市	学生や市民の学習環境が整った教育都市	買物やまち歩きが楽しい便利なまち	商工業がさかんな産業都市	持続可能な環境都市	治安の良い安全なまち	その他	無回答
全体		1,672	11.6	16.3	9.4	17.0	1.3	10.0	0.9	5.4	17.8	2.5	7.8
性別	男性	649	12.8	20.8	8.5	15.3	1.4	11.2	1.4	4.3	14.8	2.3	7.2
	女性	983	11.0	13.4	10.4	18.1	1.3	9.4	0.6	6.0	20.1	2.5	7.1
年代別	20歳～29歳	173	9.2	16.2	14.5	6.4	3.5	19.1	1.7	7.5	13.9	3.5	4.6
	30歳～39歳	279	8.6	16.5	27.2	4.7	2.2	13.6	0.7	5.4	14.7	2.9	3.6
	40歳～49歳	289	11.1	16.6	11.1	10.7	2.1	10.7	0.7	4.5	22.8	2.4	7.3
	50歳～59歳	244	19.7	19.7	4.5	12.7	0.8	8.2	0.8	6.6	19.7	2.0	5.3
	60歳～69歳	283	8.8	18.0	4.2	30.4	0.0	6.4	1.4	7.4	14.1	2.5	6.7
	70歳～79歳	235	11.1	12.8	0.9	26.8	0.9	8.1	0.9	2.6	21.3	2.1	12.8
	80歳以上	149	14.8	13.4	0.0	30.9	0.0	5.4	0.0	2.7	16.8	2.0	14.1
居住地域別	吉祥寺地域	690	13.0	13.9	8.7	15.4	1.0	14.8	1.2	5.2	17.1	2.9	6.8
	中央地域	438	9.8	18.0	10.5	17.1	1.6	7.8	0.7	5.5	18.0	2.7	8.2
	武蔵境地域	520	11.3	18.3	10.0	19.2	1.5	6.0	0.8	5.2	18.5	1.7	7.5

性別に見ると、「静かで緑に恵まれた住宅都市」では、男性の方が女性よりも7.4ポイント高くなっている。逆に、「治安の良い安全なまち」では、女性の方が男性よりも5.3ポイント高い。

年代別に見ると、20歳～29歳では「買物やまち歩きが楽しい便利なまち」が2割弱と最も高い。30歳～39歳では、「親子にやさしい子育てしやすいまち」が3割弱と高くなっている。40歳～49歳、50歳～59歳、70歳～79歳では「治安の良い安全なまち」がそれぞれ約2割と高い。また50歳～59歳では「知的な雰囲気のある文化都市」、「静かで緑に恵まれた住宅都市」も2割弱と高くなっている。60歳以上では「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」が3割前後と高い。

居住地域別に見ると、中央地域と武蔵境地域において「静かで緑に恵まれた住宅都市」が2割弱と高くなっている。また武蔵境地域では、「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」も2割弱と高い。一方吉祥寺地域では「買物やまち歩きが楽しい便利なまち」が中央地域、武蔵境地域と比べて高くなっている一方、「静かで緑に恵まれた住宅都市」は低くなっている。(図表3-28)

図表 3-29 武蔵野市の将来像 (子どもの就学状況別・介護が必要な同居家族の有無別)

		調査数 (n)	知的な雰囲気のある文化都市	静かで緑に恵まれた住宅都市	親子にやさしい子育てしやすいまち	高齢者や障害者が住みやすい福祉都市	学生や市民の学習環境が整った教育都市	買物やまち歩きが楽しい便利なまち	商工業がさかんな産業都市	持続可能な環境都市	治安の良い安全なまち	その他	無回答
全 体		1,672	11.6	16.3	9.4	17.0	1.3	10.0	0.9	5.4	17.8	2.5	7.8
就学状況別 子どもの	小学校入学前	159	6.3	15.7	47.2	3.1	5.0	5.0	0.6	2.5	8.2	1.9	4.4
	小学生	152	13.2	17.8	23.0	7.9	3.3	8.6	0.0	5.3	17.8	0.7	2.6
	中学生	83	14.5	13.3	20.5	3.6	2.4	13.3	0.0	3.6	20.5	2.4	6.0
	高校生および高校生相当年齢	137	13.9	18.2	8.0	11.7	0.7	7.3	0.7	6.6	22.6	3.6	6.6
介護が必要な同居家族の有無別	いる	215	11.2	12.6	5.1	30.7	0.5	8.4	0.9	4.7	14.9	3.7	7.4
	いない	1,282	11.6	17.6	11.2	13.7	1.6	10.5	0.9	5.1	18.2	2.4	7.1

子どもの就学状況別に見ると、子どもが小学校入学前の家庭では「親子にやさしい子育てしやすいまち」が5割弱と高くなっており、他の類型と比べても2倍以上の開きがある。特に、高校生および高校生相当年齢とは6倍近い開きがある。子どもが小学生、中学生、高校生および高校生相当年齢の場合は「知的な雰囲気のある文化都市」、「治安の良い安全なまち」が高い結果となっている。

介護が必要な同居家族の有無別に見ると、介護が必要な同居家族がいると回答した家庭では「高齢者や障害者が住みやすい福祉都市」が3割強と、介護が必要な同居家族がいないと回答した家庭と比べて高くなっている。(図表 3-29)